

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 119

所管部局	企画管理部	所管課	企画推進課	担当者名	前原 正明
事業名	地域活性化・生活対策事業			事業分類	ハード事業
細事業名	山陰本線複線化整備事業			政策体系	321
会計	一般会計	科目	2.総務 - 1.総務 - 12.地域		

## 1. 事業の概要

山陰本線 京都・園部間複線化整備事業に対する補助事業

## 2. 事業の目的と必要性

### ①施策で目指す目標との関連付け

複線化開業により、増便、増発や電車の待ち時間解消による所要時間の短縮等による利便性の向上を図る。

### ②事業を実施する必要性

市民の利便性の向上及び園部駅以北の複線化にかかる要望を働きかける。

## 3. 事業費の推移

		単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額		千円				376,921			
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円				0			
財源内訳	使用料・手数料等	千円				58,634			
	国・府支出金	千円				0			
	地方債	千円				0			
	一般財源	千円				318,287			
職員等の従事人員		人/年	—	—		0.20			
人件費		千円	—	—		1,275			
事業費総額		千円	—	—		378,196			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。  
 ※平成21年度の南丹市活性化推進基金繰入金(生活対策臨時交付金)

## 4. 主な事業費の内訳

山陰本線複線化整備事業費補助金
376,921,000円

## 5. 事業結果の概要

平成22年3月13日 京都・園部間複線化開業

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

地域活性化・生活対策臨時交付金を活用し、補助金を交付した。山陰本線複線化については、平成22年3月に京都・園部間の複線化が開業したが、園部以北についても市民生活における利便性の向上を図るため、引き続き要望活動を展開する。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成21年度の所属長評価

--